

特集 地域で羽ばたく中小企業診断士4

第1章

地域課題に挑戦する 中小企業診断士たち



「地域で羽ばたく中小企業診断士4」執筆チーム

1. 地域経済の課題

現在、地域経済は、後継者育成、人口減少対策、産業の多様化などのさまざまな課題を抱えている。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大きな打撃を受けた地域も多く、復興に向けた支援や地域の強みを生かした新たな産業の創出が求められている。また、若者人材の確保も課題となっており、魅力的な地域ブランドの育成も必要である。

これらの課題解決のための事業展開を行う中小企業も数多く、それらの企業を支援するため日々、挑戦を続ける中小企業診断士が全国各地に存在する。

2. 中小企業診断士への期待

「2022年版小規模企業白書」によると、地域課題の解決に取り組んでいる小規模事業者は約6割に上り、地域の持続的発展に貢献するため日々、事業活動を行っている。

一方で、燃料費・原材料費の高騰、さまざまな制度改正、DX（デジタル・トランスフォーメーション）への対応、人口減少、自然災害、新型コロナウイルスの感染拡大などの事業環境変化が連続して起こり、経営へ大きな影響を及ぼしている。

この状況において、地域に根ざした活動を

行う中小企業診断士への期待と役割は大きくなっている。中小企業事業者の潜在能力を見だし、経営者に寄り添った支援とともに政策の有効活用を行うことが求められる。

3. 本特集の概要

今回、各地域において課題解決のために活躍している中小企業診断士を紹介し、地域とのかかわり、地域特有の課題、具体的な課題解決の取組み、ポストコロナ時代における地域の中小企業支援の在り方、目指す今後の姿などを紹介する。

第2章以下の各章では、北海道、群馬県、三重県、広島県、熊本県のそれぞれの地域で活躍している中小企業診断士5名を紹介する。各自の強みを生かして、地域の事情を踏まえた支援活動をどのように進めているのか、具体的な事例も交え語っていただいた。

5名の中小企業診断士の支援活動テーマは、事業承継、観光業支援、地域課題解決、女性後継者支援、空き店舗対策など多様である。

一方、全員に共通していることは、「地域を活性化したい」、「地域の魅力を全国へ発信したい」という真摯に地域課題と向き合う姿勢である。

本特集が地域課題に挑戦する中小企業診断士の後押しとなり、今後も次々に誕生するであろう「地域で羽ばたく中小企業診断士」たちへの羅針盤となることを願っている。